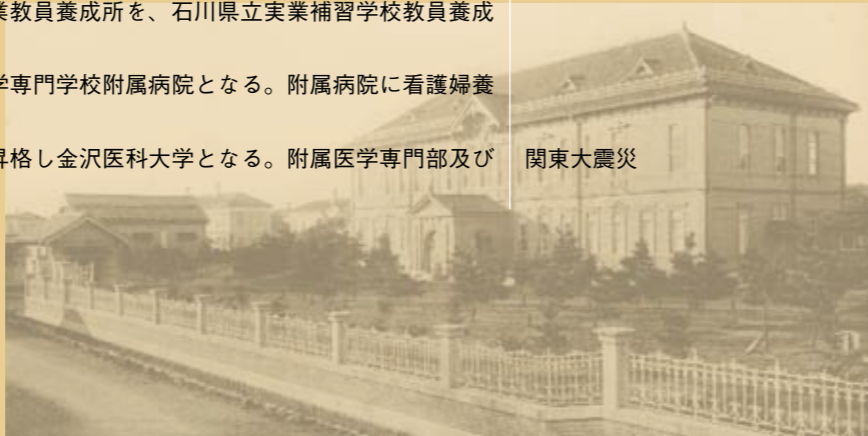
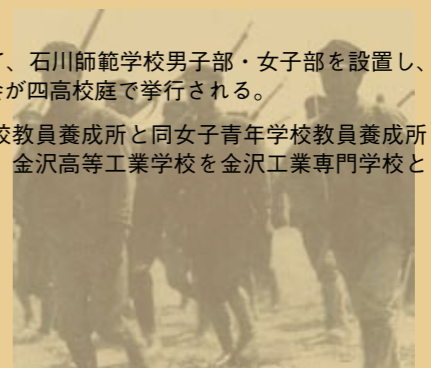
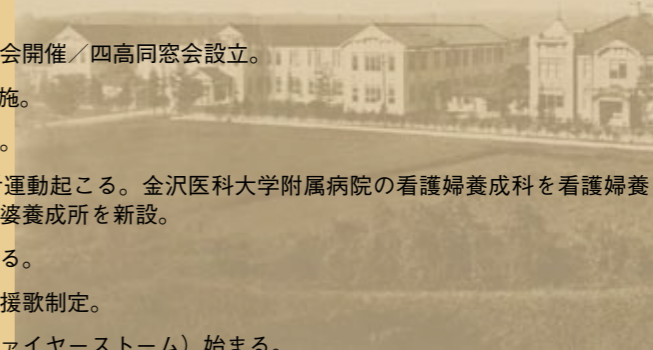


西暦	年号	金沢大学の動き	社会の動き・地域の動き
1902	明治35	四高、第一回寮歌選定。	
1903	明治36	四高寄宿舎時習寮の新棟完成。新入生全員が入寮することとなる。	
1904	明治37		日露戦争（～05）
1905	明治38	石川県立金沢病院が小立野に新築移転。	
1906	明治39	四高、寄宿舎の炊事場から出火、時習寮南寮を全焼。	
1907	明治40	第2回南下軍遠征。この時「南下軍の歌」制作。	
1908	明治41	四高、寒潮事件起こる。	
1909	明治42		
1910	明治43		大逆事件、韓国併合
1911	明治44	第27回帝国議会衆議院において北陸帝国大学設立に関する建議案が可決。	
1912	明治45	金沢医学専門学校が小立野の新校舎へ移転。	
1913	大正2		
1914	大正3	石川県師範学校（男子部）は野村（現、弥生町）に新築移転。女子部が分立して同女子師範学校となり、広坂に残る。	第1次世界大戦（～18）
1915	大正4	四高寮歌「北の都に秋たけて」を選定。	
1916	大正5	高等工業学校の金沢設置が閣議決定。	
1917	大正6	四高、生徒制服を改正。夏服地を霜降小倉とし、以後新調する者はこれに基かせる。	ロシア革命
1918	大正7	石川県立農業教員養成所を、石川県松任町の石川県立農学校に付設。	米騒動
1919	大正8	四高生24名が日本アルプス横断に成功。	
1920	大正9	金沢高等工業学校を崎浦村上野新に設置。	
1921	大正10	四高、自治事件起こる。石川県立農業教員養成所を、石川県立実業補習学校教員養成所と改称。	
1922	大正11	石川県立金沢病院を官立移管、金沢医学専門学校附属病院となる。附属病院に看護婦養成科を設置。	
1923	大正12	金沢医学専門学校、官立医科大学に昇格し金沢医科大学となる。附属医学専門部及び附属薬学専門部を設置。	関東大震災

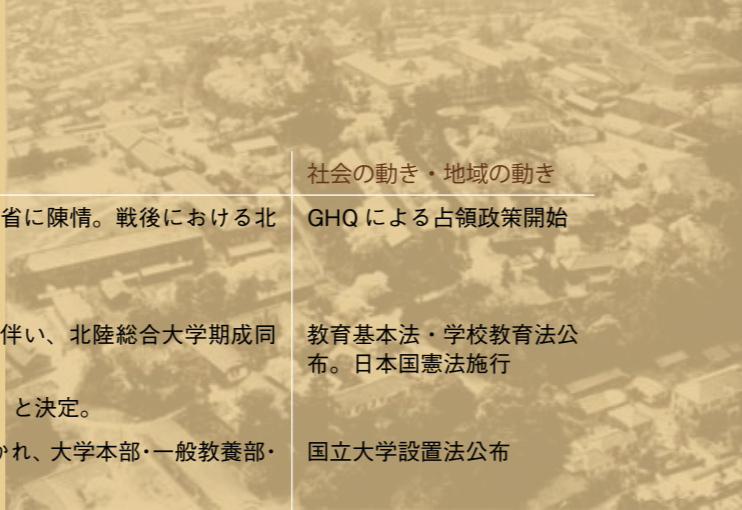


西暦	年号	金沢大学の動き	社会の動き・地域の動き
1924	大正13	金沢工業高等学校、同窓会組織として金沢工業会を創設。	
1925	大正14		治安維持法・普通選挙法公布。中学校以上で軍事教練始まる。
1926	大正15	金沢医科大学衛生展覧会開催／四高同窓会設立。	
1927	昭和2	四高時習寮自炊制度実施。	
1928	昭和3	四高同盟休校事件発生。	
1929	昭和4	四高生の軍事教練反対運動起こる。金沢医科大学附属病院の看護婦養成科を看護婦養成所に改称。また、産婆養成所を新設。	世界恐慌
1930	昭和5	四高反帝同盟事件起こる。	
1931	昭和6	金沢高等工業学校の応援歌制定。	満洲事変
1932	昭和7	四高記念祭焼却祭（ファイヤーストーム）始まる。	上海事変。満州国建国。 5.15事件
1933	昭和8	四高、腸チフス禍事件。四高寮生8名死亡。	国際連盟脱退
1934	昭和9	四高、読書会事件起こる。四高生の野外軍事演習拒否事件発生。	
1935	昭和10	金沢高等工業学校機械工学科鋳工場より出火し、同工場等1棟および附属建物消失。	
1936	昭和11	四高防護団結成。	2.26事件
1937	昭和12	石川県立実業補習学校教員養成所を石川県立青年学校教員養成所と改称。河北郡津幡町に石川県立女子青年学校教員養成所を開校。	日中戦争開始
1938	昭和13	四高、生徒の集団勤労奉仕作業始まる。	
1939	昭和14	金沢医科大学に臨時附属医学専門部を設置。	第二次世界大戦（～45）
1940	昭和15	四高、校友会組織「北辰会」を解散し、「北辰報国団」を結成。	
1941	昭和16	四高漕艇部の琵琶湖遭難事件。部員・OB11名が死亡。	アジア・太平洋戦争開戦
1942	昭和17	金沢医科大学に附属結核研究所を設置。	
1943	昭和18	石川県師範学校と同女子師範学校を合併して、石川師範学校男子部・女子部を設置し、官立専門学校に昇格。全金沢出陣学徒壮行会が四高校庭で挙行される。	
1944	昭和19	金沢高等師範学校を設置。石川県立青年学校教員養成所と同女子青年学校教員養成所を合併し、官立の石川県立青年師範学校開校。金沢高等工業学校を金沢工業専門学校と改称。	
1945	昭和20	四高、授業停止。	ポツダム宣言受諾。日本無条件降伏



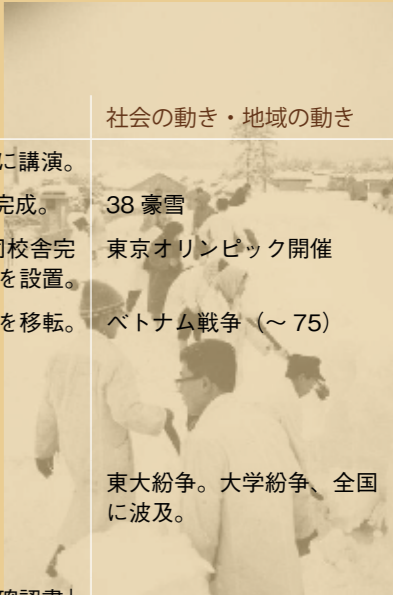
北陸総合大学設立運動と金沢大学の発足

西暦	年号	金沢大学の動き	社会の動き・地域の動き
1945	昭和20	四高、授業再開。石川県知事、北陸総合大学の誘致を文部省に陳情。戦後における北陸総合大学誘致運動始まる。	GHQによる占領政策開始
1946	昭和21	北陸総合大学設置期成同盟会が発足。	
1947	昭和22	金沢城跡の敷地が北陸総合大学建設地に確定。学制改革に伴い、北陸総合大学期成同盟会を北陸総合大学設立準備委員会に改組改称。	教育基本法・学校教育法公布。日本国憲法施行
1948	昭和23	北陸大学設立準備委員会は、新設大学の名称を「金沢大学」と決定。	
1949	昭和24	金沢大学が発足。法文、教育、理、医、薬、工の6学部が置かれ、大学本部・一般教養部・附属図書館を金沢城内に置く。金沢大学看護学校開校。	国立大学設置法公布
1950	昭和25	金沢城跡を金沢大学に移管。	朝鮮戦争（～53）
1951	昭和26	金沢大学看護学校を金沢大学医学部附属看護学校に改称。石川師範学校及び石川青年師範学校が廃止され、その附属学校が金沢大学附属小学校・中学校・幼稚園となる。	サンフランシスコ講和条約・日米安保条約調印
1952	昭和27	金沢高等師範学校が廃止され、金沢高等師範学校附属高校は、金沢大学教育学部附属高校となり、同中学校は教育学部附属中学校に合併。	GHQによる占領終了。内灘闘争（～57）
1953	昭和28	教育学部の弥生町旧石川師範学校敷地より金沢城内への移転が完了。	
1954	昭和29	工学部工業教員養成課程、工学部工学専攻科、薬学部薬学専攻科、理学部理学専攻科を設置。	
1955	昭和30	大学院を設置し、医学研究科博士課程を置く。	
1956	昭和31	ペンシルバニア大学と初めての大学間交流協定を締結。医学部附属診療エックス線技師学校開校。	
1957	昭和32	大学構内の図書館書庫（金沢城三十間長屋）が重要文化財に指定。	
1958	昭和33	昭和天皇来学。	
1959	昭和34	開学10周年記念式を挙行、記念行事として祝賀会・全学運動会を開催、記念事業として校歌を制定。	
1960	昭和35	安保改定反対運動が高揚し、1000人以上の抗議集会・街頭デモがたびたび行われる。	安保闘争。池田内閣、所得倍増計画を閣議決定
1961	昭和36	医学部附属癌研究施設を設置。	



金沢大学の整備・拡充

西暦	年号	金沢大学の動き	社会の動き・地域の動き
1962	昭和37	ライシャワー大使夫妻、金沢大学を訪問。学生懇談会に出席し、300人の学生に講演。	
1963	昭和38	大学院理学研究科修士課程を設置。城内整備事業の最初として法文学部新校舎完成。	38 豪雪 東京オリンピック開催
1964	昭和39	大学院薬学研究科修士課程を設置。教養部の官制化実現。理学部・教養部合同校舎完成し、理学部の仙石町旧四高敷地より城内への移転完了。教育学部附属養護学校を設置。	ベトナム戦争（～75）
1965	昭和40	大学院工学研究科修士課程を設置。新附属図書館が完成。三十間長屋より蔵書を移転。医学部附属衛生検査技師学校開校。	
1966	昭和41	教育学部新校舎・学生会館・新本部棟が完成。城内整備事業完了。	
1967	昭和42	医学部癌研究施設と結核研究所を統合し、がん研究所を設置。	
1968	昭和43	金沢城学術調査委員会が金沢城跡の発掘調査を開始。	東大紛争。大学紛争、全国に波及。
1969	昭和44	「金大紛争」始まる。教養部・法文学部等で断続的に学生スト突入。	
1970	昭和45	教養部の教官代表と学生自治会代表は、学生のストライキや団交権を認める「確認書」にサイン、1000日間を超えた長期ストライキ解除。	
1971	昭和46	大学院法学研究科修士課程を設置。	
1972	昭和47	大学院文学研究科修士課程を設置。医学部附属各種学校を統合して金沢大学医療技術短期大学部を設置。	沖縄返還協定発効
1973	昭和48		オイルショック
1974	昭和49		
1975	昭和50	理学部に低レベル放射能実験施設を設置。	
1976	昭和51	大学教育開放センター（現、地域連携推進センター）を設置。評議会に将来計画検討委員会を設置。	
1977	昭和52	将来計画検討委員会に「キャンパス問題に関する専門委員会」を設置。	
1978	昭和53	評議会で総合移転（200ha構想）の方針を決定。	
1979	昭和54	総合移転の実施計画等を審議するため、将来計画検討委員会に「総合移転実施特別委員会」設置。	初の全国共通大学入試（共通一次試験）実施
1980	昭和55	法文学部の分離改組により、文学部、法学部、経済学部を設置。評議会、移転先を角間地区に決定。	





西暦	年号	金沢大学の動き
1981	昭和56	臨時評議会、総合移転を多数決で決定。用地取得費を概算要求に盛り込む。
1982	昭和57	大学院教育学研究科修士課程を設置。
1983	昭和58	
1984	昭和59	大学院経済学研究科修士課程を設置。「総合移転整備事業建設起工式」を挙行。
1985	昭和60	大学院薬学研究科博士課程生命科学専攻を設置。
1986	昭和61	旧制四高開学 100 年祭開催。
1987	昭和62	大学院自然科学研究科博士課程を設置。
1988	昭和63	金大移転事業に伴い角間町から集団移転した角間新町の開町式を挙行。
1989	平成元	文・法・経済3学部、及び附属図書館が角間新キャンパスに移転。総合移転(第I期)開始。
1990	平成2	留学生教育センター(現、留学生センター)、総合情報処理センター(現、総合メディア基盤センター)を設置。
1991	平成3	教育学部附属教育実践研究指導センター(現、学校教育学類附属教育実践支援センター)を設置。
1992	平成4	理学部及び教育学部が角間新キャンパスに移転。
1993	平成5	大学院社会環境科学研究科博士後期課程を設置。一般教養課程・専門課程の課程区分を廃止。教養部が角間新キャンパスに移転。
1994	平成6	教養的科目と専門科目をくさび型に配置する4年一貫の新カリキュラムがスタート。
1995	平成7	大学本部が角間キャンパスに移転。総合移転第I期事業完成。教育学部附属中学校・小学校・幼稚園が平和町キャンパスに移転。金沢大学医療技術短期大学部を廃止し、医学部保健学科を設置。
1996	平成8	金沢大学改組。教養部を廃止し教養教育機構(現、共通教育機構)を設置。各学部の学科・講座を再編。外国語教育研究センターを設置。

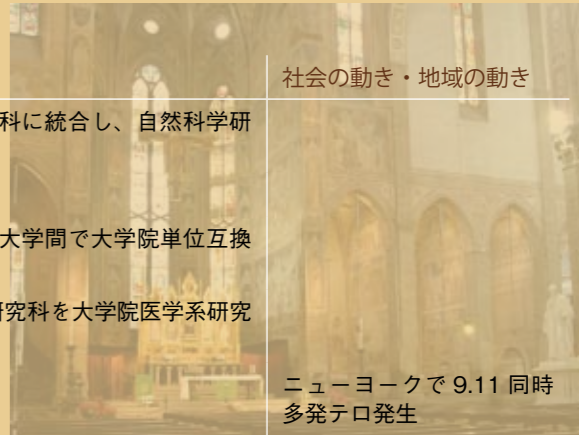
社会の動き・地域の動き

ベルリンの壁崩壊。東西冷戦の終結  
東西ドイツ統一  
大学設置基準改正(大綱化)。湾岸戦争。ソビエト連邦崩壊

阪神・淡路大震災

金沢大学の法人化と新たな発展

西暦	年号	金沢大学の動き
1997	平成9	大学院理学研究科・工学研究科・薬学研究科を自然科学研究科に統合し、自然科学研究科を5年制の区分制大学院に改組。
1998	平成10	「総合移転第II期整備工事起工式」を挙行。
1999	平成11	金沢大学、北陸先端科学技術大学院大学、金沢工業大学の3大学間で大学院単位互換協定を締結。金沢大学創立50周年記念式典。
2000	平成12	大学院医学系研究科保健学専攻修士課程を設置、大学院医学研究科を大学院医学系研究科に改称。
2001	平成13	医学部附属病院新病棟が完成・移転。
2002	平成14	21世紀COEプログラム「環日本海域の環境計測と長期・短期変動予測」採択。
2003	平成15	学際科学実験センター、総合メディア基盤センターおよび大学教育開発・支援センターを設置。
2004	平成16	国立大学法人金沢大学設立。大学院法務研究科(法科大学院)を設置。薬学部および工学部の一部が角間キャンパスに移転。薬学部および工学部の一部が角間キャンパスに移転。21世紀COEプログラム「発達・学習・記憶と障害の革新脳科学の創成」採択。サンタ・クロッチェ教会(イタリア)の壁画修復・研究調査に関する協定書締結。
2005	平成17	医学部附属病院新中央診療棟が完成・移転。工学部の大半が角間キャンパスに移転。総合移転第II期事業完成
2006	平成18	大学院社会環境研究科博士課程および文学・法学・経済学各研究科修士課程を再編改組し、5年制の区分制大学院、人間社会環境研究科を設置。教養的科目を共通教育科目と改めた新カリキュラムがスタート。
2007	平成19	フロンティアサイエンス機構、子どものこころの発達研究センターを設置。
2008	平成20	学部学科制を廃止、3学域・16学類スタート。イノベーション創成センターを設置。
2009	平成21	大学院教育学研究科修士課程の各専攻を再編統合し、教育実践高度化専攻を設置。大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合大学院小児発達学研究科博士後期課程を設置。附属病院新外来診療棟が完成・移転。
2010	平成22	がん研究所が角間キャンパスに移転、文部科学省の先進共同研究拠点に認定。
2011	平成23	がん研究所をがん進展制御研究所に改称。
2012	平成24	大学院医学系研究科を大学院医薬保健学総合研究科に改組。フロンティアサイエンス機構とイノベーション創成センターを統合し、先端科学・イノベーション推進機構に改組。創基150周年記念式典。



社会の動き・地域の動き

ニューヨークで9.11同時多発テロ発生

イラク戦争始まる。国立大学法人法制定

能登半島地震

3.11 東日本大震災

